

2009年度

科目名	演習 I		
担当教員	横田 隆志		
配当	日文3	コード	33100
開期	通年	講時	水曜日3限
		単位数	4
授業テーマ	文学研究の方法を学ぶ		
目的と概要	中世文学研究における問題設定の仕方や研究方法について学びます。		
成績評価法	課題に取り組む姿勢(50%)・レポート(50%)		
テキスト	プリントを配布します。		
参考書	授業のなかで適宜紹介します。		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<p>(前期)</p> <p>1・2回生の専門教科で学んだ基礎的な解釈力を確認し、さらに磨きをかけるために、「ものぐさ太郎」「一寸法師」等のお伽草子を題材として輪読を行います。輪読担当者は、分担部分の現代語訳・語釈等を行い、資料を作成した上で発表します。またそれらの作業や発表を通して、自分なりの問題意識を掘り起こし、前期末にレポートを提出してもらいます。</p> <p>第1回 インタロダクション1……授業内容紹介 第2回 インタロダクション2……発表資料の作成方法について 第3回 インタロダクション3……参考文献の紹介および使用方法 第4-14回 学生による発表 第15回 まとめ</p> <p>(後期)</p> <p>中世文学(お伽草子・語り物・謡曲・軍記・説話・和歌など)を題材として、各自がそれぞれにあたためた問題意識をもとに研究発表を行います。発表手順は次のとおりです。</p> <p>(A) 夏休み明けに各自があたためた研究テーマを400字以内で提出する。 (B) 発表資料はB4版で3枚以内を原則とする。 (C) 発表時間は30分以内を原則とする。 (D) 発表者以外の者も演習に積極的に参加するために、一つの発表が終わった後、その発表に対する評価を書いて提出し、それを題材に質疑応答する。</p> <p>具体的には次の予定で授業を進めます。</p> <p>第16-18回 ガイダンス……論文を書くとはどういうことか 第19-29回 学生による発表 第30回 まとめ</p> <p>※後期末には各自の発表をもとにして、研究テーマをまとめたレポートを提出してもらいます。 ※上記の発表スケジュールは受講者数によって変更する場合があります。</p>			